

August

2018

主の最善な備え

主イエスは、彼らにこう話されて後、天に上げられて神の右の座に着かれた。そこで、彼らは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばに伴うしるしをもって、みことばを確かなものとされた。(マルコ16:19, 20)



聖所から流れ出る水ミッション

代表 エルサレム杉澤

皆さまの尊いお祈りとご献金を感謝いたします。9月24日～28日の短期日程でカンボジアチームが派遣されます。今回の目的は礎の石孤児院カンボジアの働きの進展とインターネット礼拝会員のカバリングにあります。主の御心が完全に全うされるようお祈りください。

ミッションの働きの土台である主の十字架クリスチャンセンター東京アンテオケ教会主催で夏の白馬キャンプが行われました。このキャンプは終末の後の雨リバイバルと終末の働きの使命を全うするために主の特別な導きで始まったキャンプであり、毎年、2月と7月に長野県の白馬で行われています。この白馬の場所は、特に黙示録6章(終末リバイバル)と19章(宣教の勝利)に登場する白い馬と深く関っており、神さまの特別な導きとご計画を強く感じています。夏のキャンプは賛美の(日本のオリジナルゴスペル曲<J. GOSPEL>と賛美グループ)の建て上げのために始まった「J. GOSPELコンテスト決勝大会」が中心でした。当初は大人だけでしたが、今ではKIDS(小学生)、U21(中学生以上～21歳未満)と年齢層も広がっています。

預言を通して賛美を始めとしてインターネット(IT)や映像を世界宣教で大きく用いると語られ、賛美ではヴォイスレーニングやオーケストラ、アレンジセミナー、ITではSNS・ブログセミナーが行われています。2月のキャンプでは、9つの御霊の賜物の実践セミナーを中心に映像コンテストや映像の各種セミナーが行われ、働きの使命を全うするための備えが着々となされています。

主が語られている通り、海外宣教チームが遣わされる宣教地ではJ. GOSPELや賜物を通して聖霊の働きが大きく変化しています。クルセードでは賛美を通して救いが起こり、いやしや知恵・知識のことばを通しての主の働きが顕著になっています。主に正しく聞き従うとき、最善の備えがなされ、私たちを用いて主が働きを全うしてくださり、栄光を現されます。

写真：白馬キャンプ聖会

パウロ秋元牧師のメッセージを聞く会衆

